

2. 教科に関する調査の結果（概要）

(1) 調査問題の趣旨・内容，課題等，指導改善のポイント

○調査問題の趣旨・内容

国語A 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ 目的や意図に応じて，収集した情報を関係付けながら話し合う。
- 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する。
 - 目的に応じて，図と表とを関係付けて読む。
 - 登場人物の人物像について，複数の叙述を基にして捉える。
 - 用紙全体との関係に注意し，文字の大きさや配列などを決める。

国語B 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ インタビューメモを基に，話し手の意図を捉えながら聞いたり，話の展開に沿って質問したりする。
- 目的や意図に応じ，グラフや表を用いて，自分の考えが伝わるように工夫して活動を報告する文章を書く。
 - 目的に応じて，複数の本や文章を比べ，自分の考えを明確にしながらかく。

○課題等

主な特徴

- 話し手の意図を捉えながら聞き，話の展開に沿って質問することに課題がある。
〔B1二・三〕
- 目的や意図に応じて，グラフや表を基に，自分の考えを書いたり，文章全体の構成の効果を捉えたりすることに課題がある。〔B2二・三〕
- 目的に応じて，文章の内容を的確に押さえ，自分の考えを明確にしながらかくことに課題がある。
〔B3三〕

話すこと・聞くこと

- ◆(B) 目的に応じて，質問する内容を工夫しながら整理することに課題がある。〔B1一〕

書くこと

- ◆(A) 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言することに課題がある。〔A3〕
- ◆(B) グラフを基に，分かったことを的確に書くことに課題がある。〔B2一〕

読むこと

- ◆(A) 登場人物の人物像について，複数の叙述を基にして捉えることに課題がある。〔A6〕

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ◇(A) 今回出題した漢字の読みと書きについては，相当数の児童ができていものがある。
〔A1一・二〕
- ◇(A) 用紙全体との関係に注意し，文字の大きさや配列などを決めることについては，相当数の児童ができていものがある。〔A7〕
- ◆(A) 濁音や促音を含む平仮名で表記されたものをローマ字で書くこと，拗音を含んだローマ字で表記されたものを正しく読むことに課題がある。〔A8〕

◇…相当数の児童ができていもの点 ◆…課題のある点 ()内の記号は，A…国語A，B…国語B
〔 〕内の記号は，問題番号

○指導改善のポイント

話すこと・聞くこと

○ 相手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する指導の充実

- ・ インタビューなどで、自分が聞きたいことを明確にし、相手の話の内容を十分に聞き取る際は、主に次の2点が大切である。第一に、事前にインタビューメモを作成するなど、調査等の目的に応じて質問する内容を整理しておくことである。第二に、目的に応じて、相手の意図は何か、自分の予想との違いは何か、自分の考えとの共通点や相違点は何かなどを観点として、相手の話を注意深く聞くことである。その際、相手の話の内容を確認した上で質問したり、相手の話を言い換えて、確認するために質問したり、相手の話の内容と関係付けて質問したりするなど、話の展開に沿って質問の工夫を工夫し、主体的に聞くことが大切である。

書くこと

○ 目的や意図に応じて、表現をよりよくするために助言し合う指導の充実

- ・ 表現をよりよくするためには、書いたものを読み合い、助言し合うことが必要である。児童が、互いの文章の種類や特徴を捉えた上で、書く目的や意図に応じた文章構成や表現になっているかどうかについて具体的に助言できるようにすることが大切である。

○ 目的や意図に応じ、図表やグラフを用いて、自分の考えを書く指導の充実

- ・ 活動報告文に自分の考えとして、活動に取り組んだ成果や課題などを書く際は、活動内容を図表やグラフなどにまとめ、それらを根拠として示しながら自分の考えを書くことで、読み手への説得力が高まると考えられる。児童が、「自分の伝えたいことと合う図表やグラフを活用することで説得力が生まれること」を自覚できるように指導することが大切である。

読むこと

○ 登場人物の人物像を複数の叙述を基に捉える指導の充実

- ・ 登場人物の人物像を捉える際は、各場面に描かれた登場人物の行動や会話などに即しながらそれぞれの登場人物の特徴や性格を押さえて読むことが重要である。登場人物の性格がよく表れている行動や会話などは複数描かれているため、それらと関係付けながら読むことが必要である。また、場面の移り変わりに注意しながら読むことによって、登場人物の性格をより明確に把握することができるようになる。

○ 目的に応じて、複数の本や文章を比べ、自分の考えを明確にしながら読む指導の充実

- ・ 目的に応じて、複数の本や文章などについて、様々な読み方で読むことができるようにすることが必要であり、このことは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても重要である。そのため、「課題を解決するために読む」というように、課題解決の過程に適切に位置付けられた言語活動を行うことが大切である。

また、適切な本や文章を選ぶために、学校図書館やインターネットの利用に関する知識、情報モラルなどを身に付けさせることが求められる。その上で、目的に照らして必要な本や資料を児童自ら選ぶことができるように、目次や索引を利用して検索するなどの情報収集の仕方について指導することが必要である。

さらに、児童が自ら得た複数の情報と関係付けて、自分の考えを明確にしながら読むことが重要である。その際、読む目的によって本や文章の活用の仕方が変わり、そのため引用したり要約したりする部分も変化するということを実感できるように継続的に指導することが考えられる。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

○ ローマ字を、生活の中で、進んで読んだり書いたりする指導の充実

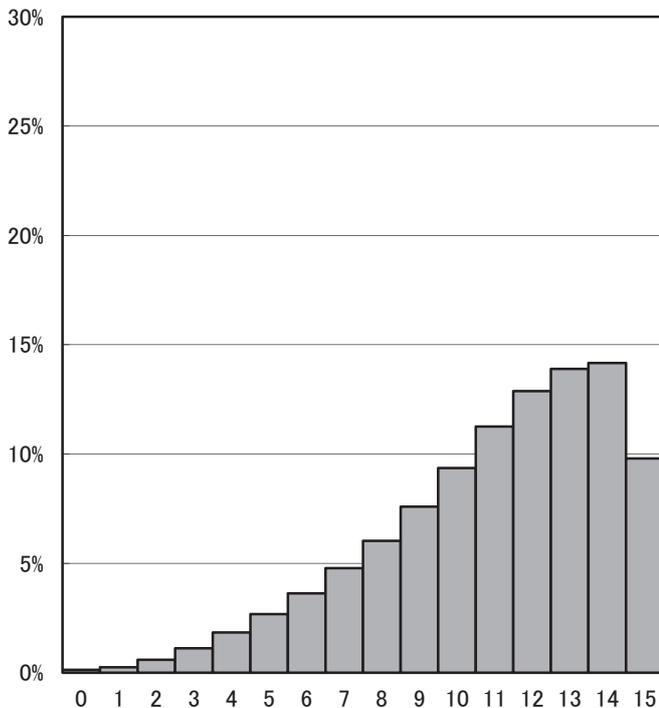
- ・ ローマ字については、当該学年での学習にとどまらず、繰り返し読んだり書いたりすることができるようにする必要がある。その際、児童が必要を感じられるように、ローマ字表記が添えられた案内板やパンフレットなど、ローマ字が使われている日常の場面と結び付けながら指導することが大切である。

(2) 集計結果 (正答等の状況)

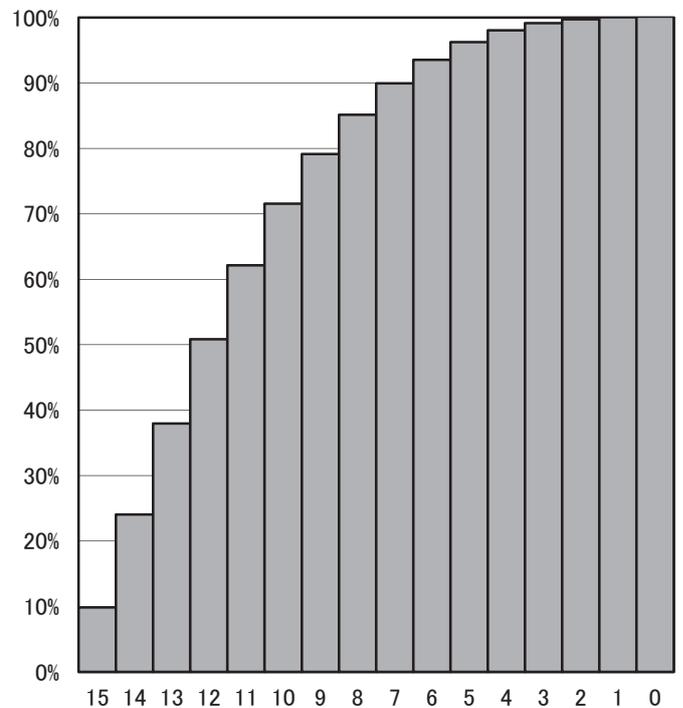
【国語A】

児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,034,949人	11.0問/15問	73.0%	12.0問	3.1	14問

正答数分布グラフ (横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



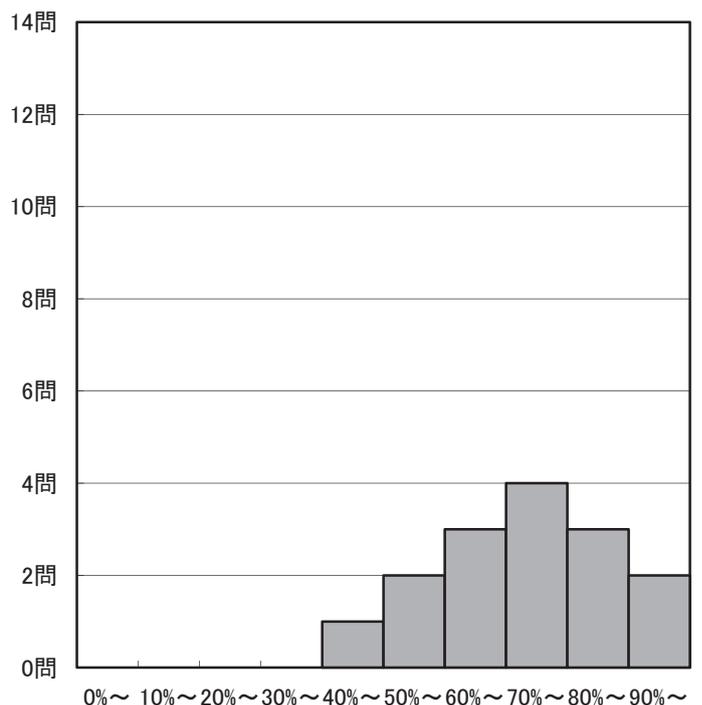
正答数累積グラフ (横軸:正答数, 縦軸:累積割合)



分類・区別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	1	79.3
	書くこと	2	73.0
	読むこと	2	78.6
	伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	10	71.3
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	0	
	話す・聞く能力	1	79.3
	書く能力	2	73.0
	読む能力	2	78.6
	言語についての知識・理解・技能	10	71.3
問題形式	選択式	6	77.3
	短答式	9	70.2
	記述式	0	

正答率別設問数 (横軸:正答率, 縦軸:設問数)



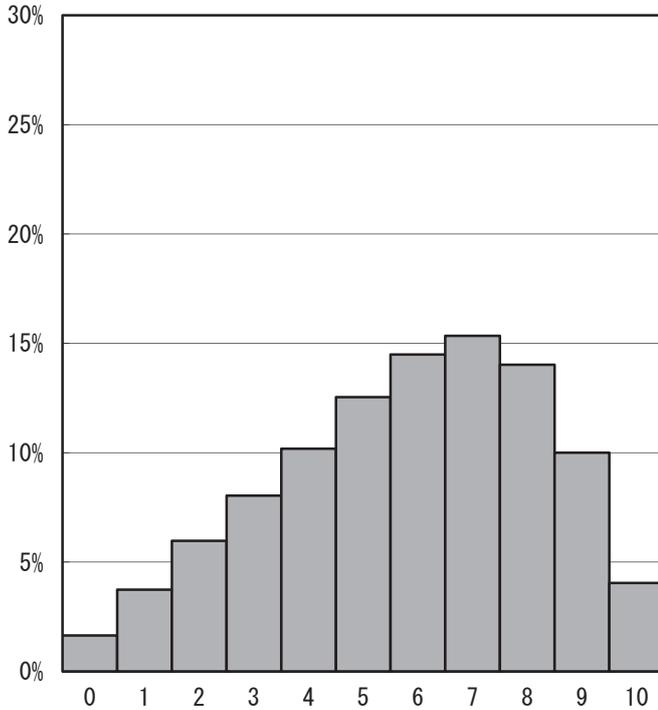
設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		
1-1	漢字を読む (今日は全国的に快晴だ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む			5-6 (1)ウ (ア)					○	○		79.5	5.1	
1-2	漢字を読む (お年玉を貯金する)				5-6 (1)ウ (ア)					○	○		98.5	0.3	
1-3	漢字を読む (むだを省くようにする)				5-6 (1)ウ (ア)					○	○		81.2	5.0	
1-1	漢字を書く (アサガオのたねをまく)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く			5-6 (1)ウ (ア)					○	○		87.6	4.4	
1-2	漢字を書く (したい友人と出かける)				5-6 (1)ウ (ア)					○	○		74.0	10.3	
1-3	漢字を書く (先生にそうだんする)				5-6 (1)ウ (ア)					○	○		64.4	4.9	
2	全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合う	5-6 ア						○		○		79.3	0.2	
3	ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する	書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する		5-6 カ						○		○	67.6	0.2	
4	委員会を紹介するパンフレットを作るため、追加の取材をした理由として適切なものを選択する	目的や意図に応じて、書く事柄を整理する		5-6 ア						○		○	78.3	0.3	
5	公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する	目的に応じて、図と表とを関係付けて読む			5-6 ウ						○	○	93.1	0.3	
6	『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する	登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉える			3-4 ウ						○	○	64.1	1.3	
7アイ	毛筆で書いた(一)と(二)を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する(永久)	用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める			5-6 (2)ア					○	○		81.3	0.9	
8__1	ローマ字を書く (りんご)	平仮名で表記されたものをローマ字で書く			3-4 (1)ウ (ア)					○	○		53.4	11.8	
8__2	ローマ字を書く (あさって)				3-4 (1)ウ (ア)					○	○		42.0	13.5	
8__3	ローマ字を読む (h y a k u)	ローマ字で表記されたものを正しく読む			3-4 (1)ウ (ア)					○	○		50.9	19.9	

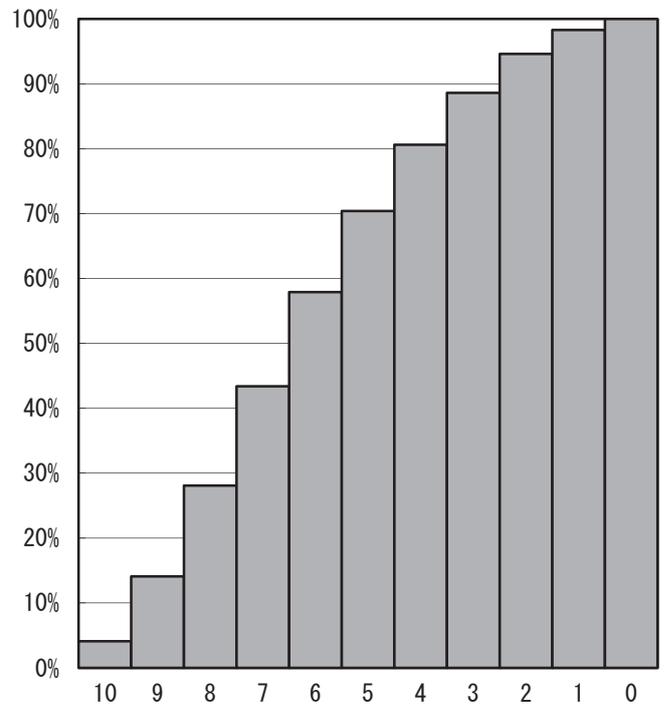
【国語B】

児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差	最頻値
1,034,679人	5.8問/10問	58.0%	6.0問	2.4	7問

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：児童の割合）



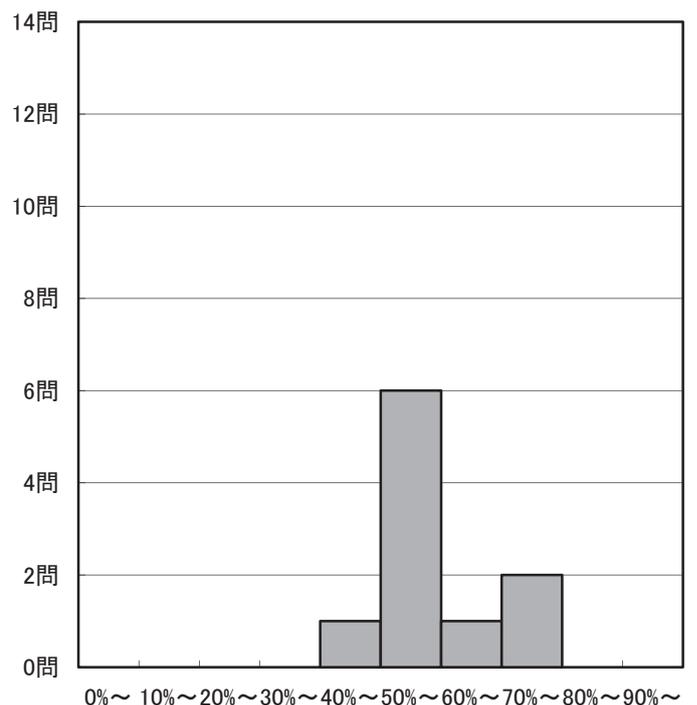
正答数累積グラフ（横軸：正答数，縦軸：累積割合）



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	51.2
	書くこと	6	53.6
	読むこと	3	69.5
	伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	0	
評価の 観点	国語への関心・意欲・態度	4	54.9
	話す・聞く能力	3	51.2
	書く能力	6	53.6
	読む能力	3	69.5
	言語についての知識・理解・技能	0	
問題形式	選択式	6	60.1
	短答式	0	
	記述式	4	54.9

正答率別設問数（横軸：正答率，縦軸：設問数）



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率(%)	無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式			記述式	
1一	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する	目的に応じて、質問したいことを整理する	5・6 エ							○			○			51.9	0.3
1二	スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	5・6 エ							○			○			51.2	0.5
1三	スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する	5・6 エ	5・6 ウ					○	○				○		50.6	7.7
2一	「早ね早起き」活動の成果について、〈図1〉の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する	グラフを基に、分かったことを的確に書く		5・6 エ									○			43.5	1.2
2二(1)	「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く	目的や意図に応じて、グラフを基に、自分の考えを書く		5・6 エ						○				○		51.5	6.7
2二(2)	「早ね早起き」活動の課題に対する解決方法について、〈表2〉の結果を基に書く	目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く		5・6 エ						○				○		64.4	7.6
2三	「早ね早起き」活動の報告文で課題を取り上げた効果として適切なものを選択する	活動報告文において、課題を取り上げた効果を捉える		5・6 イ									○			58.5	4.2
3一	「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する	目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む			5・6 カ								○	○		77.3	2.9
3二	「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する			5・6 イ								○	○		78.0	3.4
3三	「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む	5・6 ウ	5・6 ウ						○	○	○		○		53.2	11.4

(3) 知識に関する調査と活用に関する調査の相関等

■国語Aと国語Bの相関等

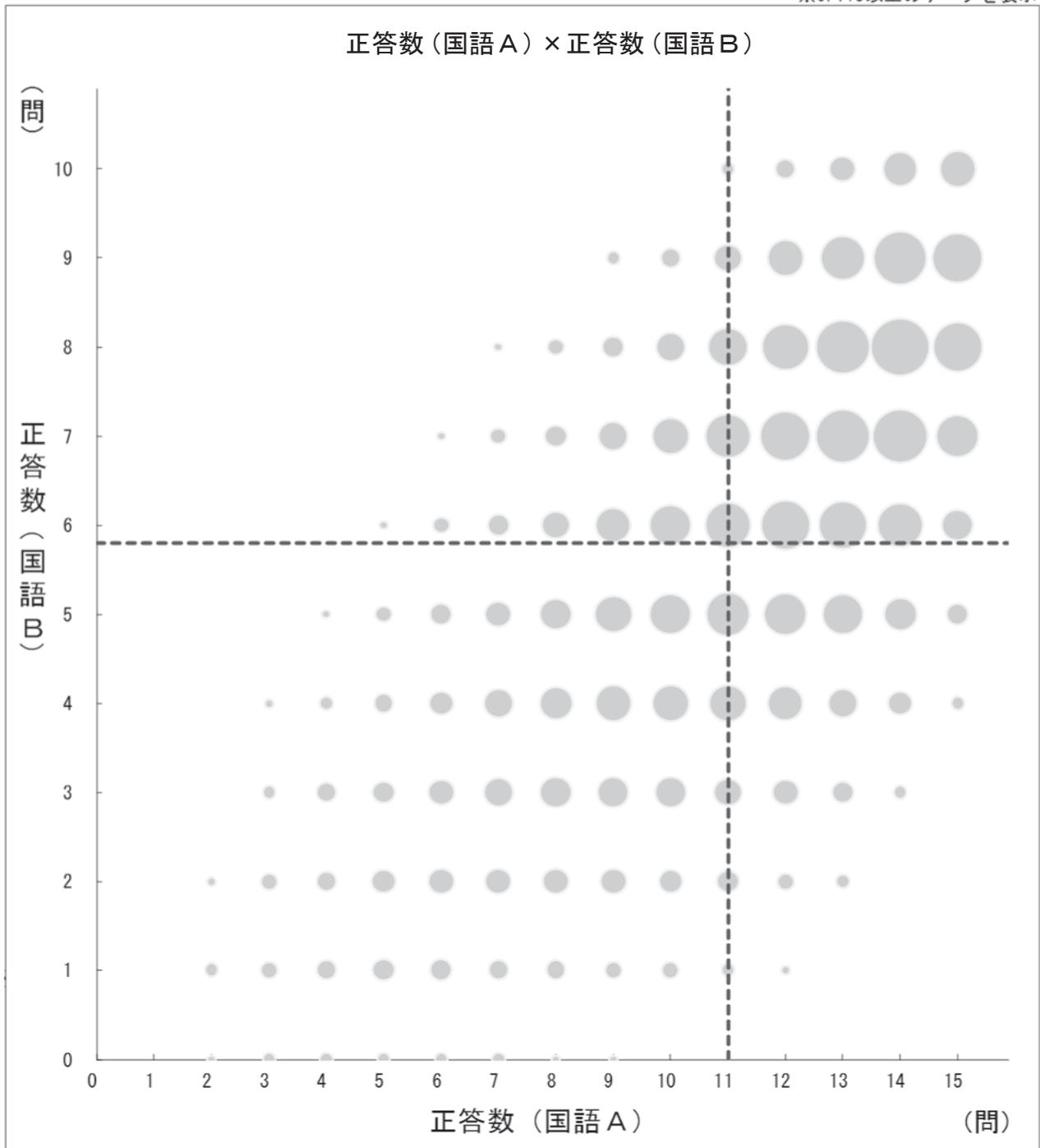
- 小学校において、国語Aと国語Bの正答数に、相関（相関係数 0.629）が見られる。
- 「国語Aは平均以上」かつ「国語Bは平均未満」の児童の割合は14.9%、「国語Aは平均未満」かつ「国語Bは平均以上」の児童の割合は10.8%となっている。

国語Aの正答数、国語Bの正答数、正答児童数の相関をバブルチャートに表したものの。

※ バブルチャート：2軸の座標軸の上に、大きさが3軸目の指標を示す円状の図（バブル）を配置した図表。

児童数	全国（国公立） 国語A平均正答数	全国（国公立） 国語B平均正答数	児童の正答数分布状況（上段：児童数 下段：児童数の割合（%））				相関係数
			国語A・国語B ともに平均以上	国語Aは平均以上 国語Bは平均未満	国語Aは平均未満 国語Bは平均以上	国語A・国語B ともに平均未満	
1,031,779	11.0	5.8	486,369 47.1	153,874 14.9	111,470 10.8	280,066 27.1	0.629

※0.1%以上のデータを表示

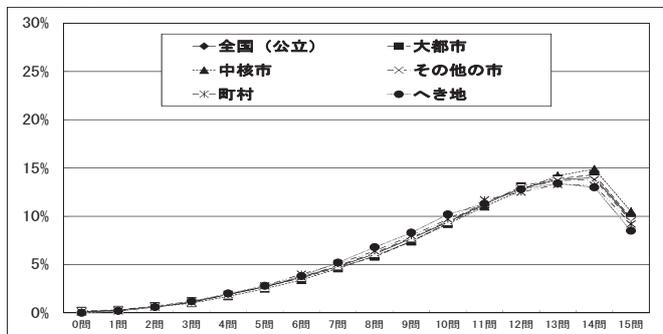


※グラフの点線は、全国（国公立）の平均正答数を表す。

(4) 地域の規模等の状況

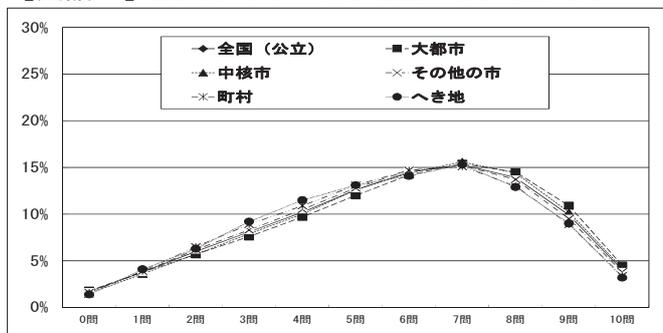
○ 平均正答数, 平均正答率, 中央値, 標準偏差を見ると, 27 年度同様, 地域の規模等(公立: 大都市, 中核市, その他の市, 町村, へき地)による大きな差は見られない。

[国語 A] 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 児童の割合)



	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
全国 (公立)	1,021,905	10.9 / 15	72.9	12.0	3.1
大都市	264,897	10.9 / 15	73.0	12.0	3.1
中核市	157,343	11.1 / 15	73.8	12.0	3.1
その他の市	509,612	10.9 / 15	72.7	11.0	3.1
町村	89,677	10.8 / 15	72.2	11.0	3.1
へき地	17,930	10.8 / 15	71.9	11.0	3.1

[国語 B] 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 児童の割合)



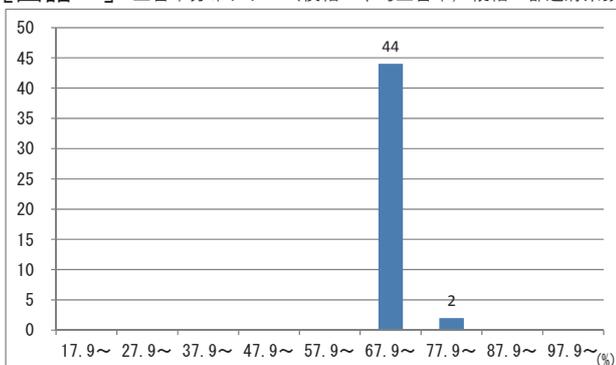
	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
全国 (公立)	1,021,635	5.8 / 10	57.8	6.0	2.4
大都市	264,857	5.9 / 10	58.8	6.0	2.5
中核市	157,307	5.9 / 10	58.5	6.0	2.4
その他の市	509,452	5.7 / 10	57.4	6.0	2.4
町村	89,644	5.6 / 10	56.4	6.0	2.4
へき地	17,919	5.6 / 10	56.3	6.0	2.4

※大都市(政令指定都市及び東京 23 区), 中核市, その他の市, 町村の値は, 当該地方公共団体の教育委員会が設置管理する公立学校に在籍する児童の調査結果(正答数)を集計したものである(都道府県立学校は含まない)。
 ※へき地の値は, へき地教育振興法及び各都道府県の条例(規則)によって指定された学校に在籍する児童の調査結果を集計したものである。大都市, 中核市, その他の市, 町村の値に重複する。

(5) 都道府県の状況

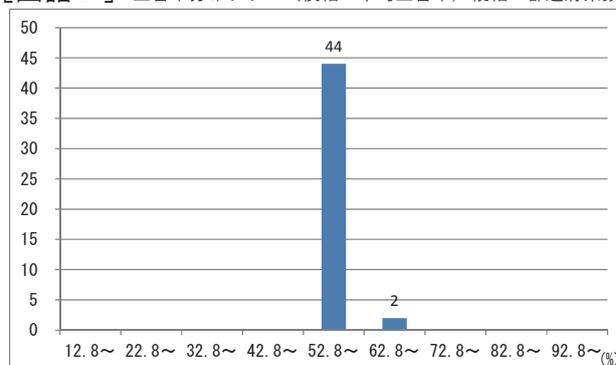
○ 各都道府県(公立)の状況については, 平均正答率を見ると, 27 年度同様, ほとんどの都道府県が平均正答率の±5%の範囲内にあり, 大きな差は見られない。

[国語 A] 正答率分布グラフ (横軸: 平均正答率, 縦軸: 都道府県数)



全国 (公立) の平均正答率	全都道府県 (公立) 中, 最高平均正答率 【全国との差】	全都道府県 (公立) 中, 最低平均正答率 【全国との差】
72.9%	78.6% 【+5.7%】	70.0% 【-2.9%】

[国語 B] 正答率分布グラフ (横軸: 平均正答率, 縦軸: 都道府県数)



全国 (公立) の平均正答率	全都道府県 (公立) 中, 最高平均正答率 【全国との差】	全都道府県 (公立) 中, 最低平均正答率 【全国との差】
57.8%	64.0% 【+6.2%】	55.4% 【-2.4%】

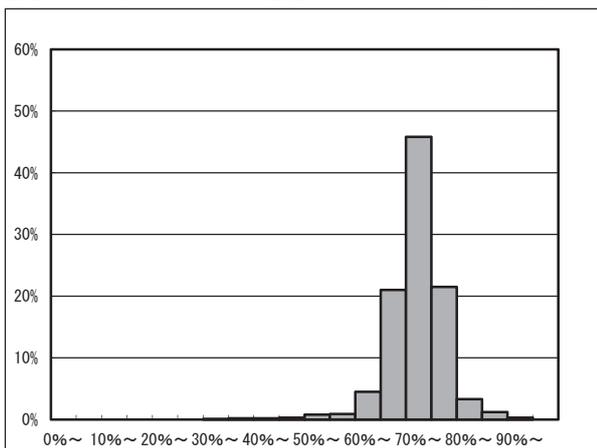
(6) 教育委員会の状況

○ 各教育委員会の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、27年度同様、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

[国語A]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率(%)	教育委員会の中央値(%)	教育委員会の標準偏差
1,742	10.8 / 15	72.0	72.4	5.7

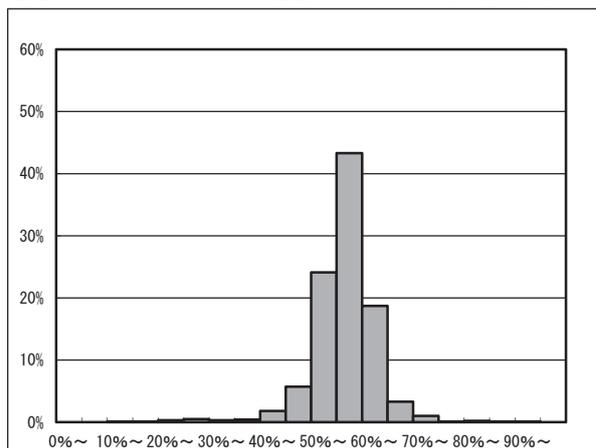
正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：教育委員会の割合）



[国語B]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率(%)	教育委員会の中央値(%)	教育委員会の標準偏差
1,742	5.6 / 10	56.4	56.9	6.4

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：教育委員会の割合）



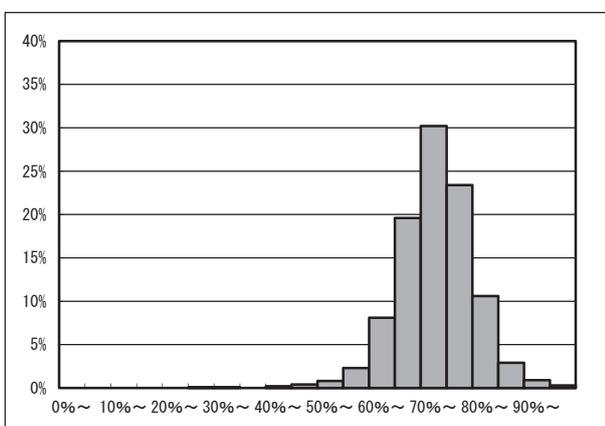
(7) 学校の状況

○ 各学校の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、27年度同様、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

[国語A]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率(%)	学校の中央値(%)	学校の標準偏差
19,522	10.9 / 15	72.8	73.1	7.7

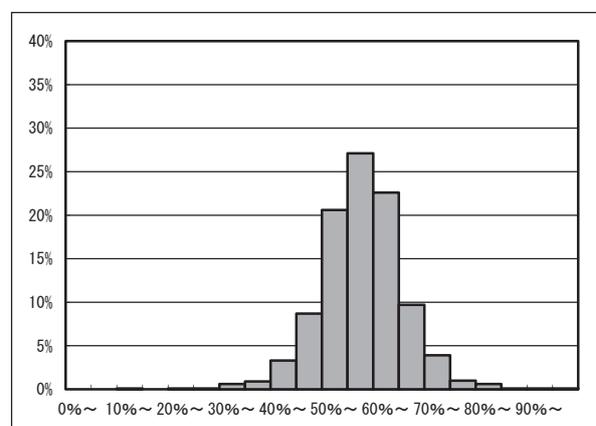
正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：学校の割合）



[国語B]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率(%)	学校の中央値(%)	学校の標準偏差
19,520	5.8 / 10	57.5	57.7	8.4

正答率分布グラフ（横軸：平均正答率，縦軸：学校の割合）

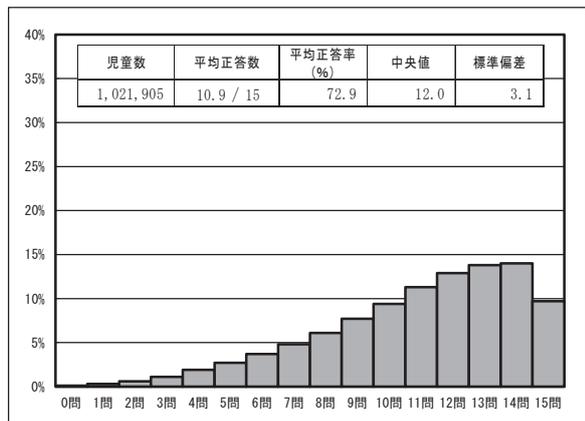


(8) 国・公・私立学校の状況

○ 国立・私立学校は一般的に入学者選抜を行っていることに留意する必要があるが、平均正答数について見ると、27年度同様、国立・私立学校は、公立学校を上回っている。

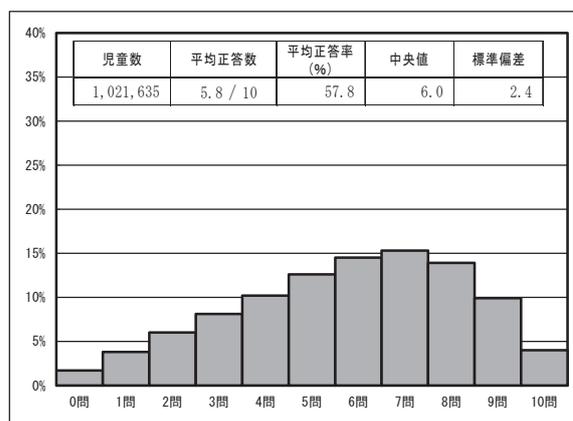
[国語A]

<公立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 児童の割合)

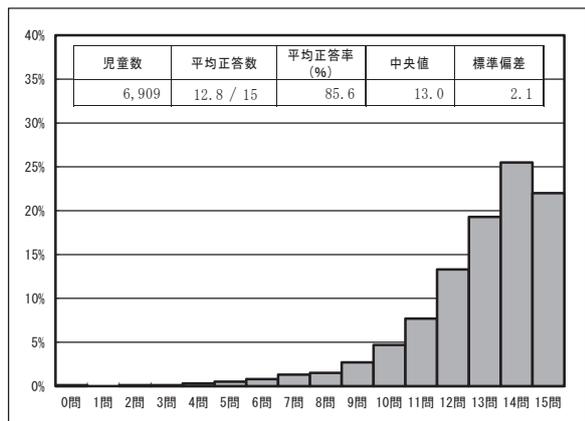


[国語B]

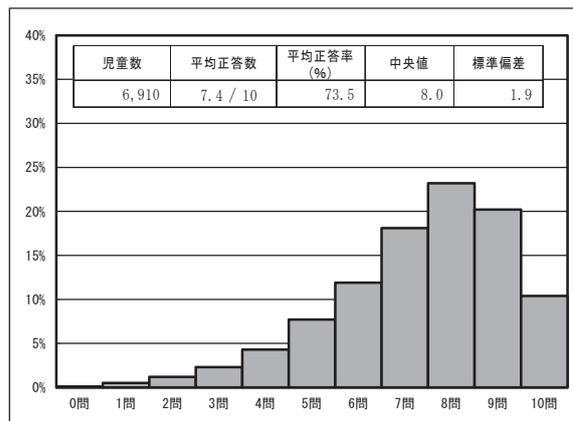
<公立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 児童の割合)



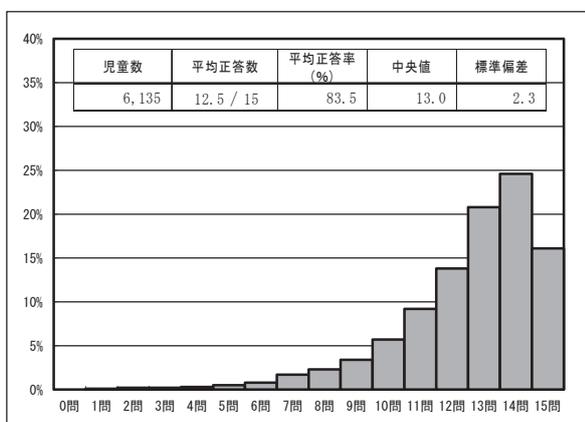
<国立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 児童の割合)



<国立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 児童の割合)



<私立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 児童の割合)



<私立> 正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 児童の割合)

